

ROTARY CLUB OF

KANAZAWA-NORTH



金沢北ロータリークラブ

例会日：木曜日 12:30～13:30

例会場：金沢市東山1-38-30・松魚亭

TEL <0762> 52-2271

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL <0762> 22-2525

会長：塩村喜代次 幹事：小間井宏尚

情報委員長：中村三次

1985・1月17日 第282号

新年に想う

会長 塩村喜代次



会員のみなさん明けましておめでとうございます。元旦より比較的穏やかな好天に恵まれ、それぞれの御家庭で元気にお正月を迎えられたこと、存じ、心から御慶び申し上げます。

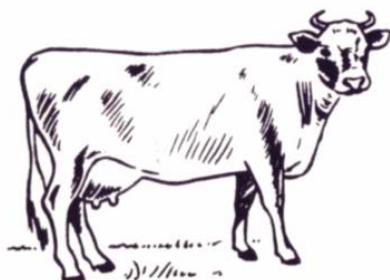
お陰げをもちまして本年度上半期の予定行事は総て立派な成果を挙げながら終了することができました。そして又昨年6月度以来、月間出席率を全部 100%で飾ると言う、すばらしいものであり、全く会員一致の賜物であろうかと思えます。決して出席率 100%にこだわるものではありませんが今の調子を是非長く続けていたゞき度い、この様に念じているわけであり、少くとも当クラブ会員だけは度重なる早退などは避けて実に「堂々タル出席ヲヤルナァ!!」と言われたいものであります。

特筆すべきは上半期において我がロータリークラブも沢山の先輩クラブに認められたものか、外部からの要請も度々受けるようになりました。例えば 261地区の行事を主催せよと言う大役でありましたが諸般の事情を考えて何とか先の方へ延ばしていたゞいた次第であります。若輩の当クラブには時機尚早と考えたからに外ならないのです。

近い将来において各クラブより挙手して薦められ、やって喜ばれるその時こそ、北ロータリークラブの全力をあげてその大役を全うしたいと思うわけであります。

我々ロータリアンの使命は日に日に重くなって来つゝあります。不況のどん底にこそロータリー精神が大切であると共に益々の研鑽と行動力が求められるようであります。どうか下半期もより以上の御指導と御援助を重ねてお願いしたいと思うや切なものがあります。

会員各位の引続いての御健康と御繁栄をお祈り申し上げ、新年の御挨拶にかえさせていただきます。



私の職業奉仕

乙村 舜吉

「PA」私共の仕事をそんな呼びかたをする事がようやく定着し、関係者の間だけでなく、一般の方々にも通用する言葉になってきました。(パブリック・アドレスの略です)

屋内・屋外での各種の行事・催しの音響装置を設置し、調整操作することが主な仕事です。そのほか録音並にレコード制作も致して居ります。

偶然に私の姓と語呂が同じことから「音のオトムラ」と言う名称でこの仕事を始めた頃、ステレオが未だ無くて、LPレコードが出はじめた頃でした。LPと一緒に、HiFiと云う言葉が使われはじめ、高忠実度だ、原音再生だ、と喧々がくがく今日の電気音響時代の始まりでした。そこで私が



ぶつかったのが、「原音って何だろう」と云う疑問でした。例えば、ヴァイオリンのほんとうの音って云うのはどれか、絃にマイクを接近させた音、胴に近づけた音、どの位離れた音が、コンサートホールで聞く音、それとも無響室の中で……。そんな事を考え続けて何年かたっているうちに、いつの間にか世間でも「原音再生」と云う言葉はほとんど使わなくなりました。

つまり「原音」を通りすぎて、「いい音」を求めたのです。しかし「いい音」を求めることは

「原音」を追究することよりもっとむづかしいことのようにです。聞く人それぞれの主観的な個人差があります。同じ会場の中でも位置や条件によって音響効果が異なります。又音響機器の発達によって、例えばエコー、リバーブ、ハーモナイザー、などその他種々のエフェクターを複合的に使用する事により、時には原音とはほど遠い程の音を創り出すことも出来ます。

こうして日常我々の耳に、はいつて来る音はレコードにしろ、テレビにしろ、そのほとんどが化粧され、盛り付された音なのです。そして或る意味では、それらの音の方が、我々の感覚の基準にさえ、なってしまうのです。

豪華なパーティの席で、素晴らしい御馳走をいただく時、喜びと幸せを感じます。私共が仕事の間としてあるステージに於ても、同様な喜びと幸せを求めて、集まって来られるお客様方に、出演の方々の方がより豪華に、より素晴らしく引立つように、裏方としての立場から、お化粧し、盛り付する事が、私共の務めだと思えます。

しかし、ここでもう一つ心しなければならないと思うのは、私共裏方の立場は、あくまでも出演者と観客との橋渡し役であって、素晴らしい声や、歌や演奏でなければならないが、素晴らしいPAであってはいけない、と云うことです。空気や水や御飯のように、意識させないで、しかもきちっと聞こえる音……。ほんとうは、そんな音が理想の音ではないかと思えます。至らぬ私、まだまだ不勉強を感じます。

年忘れ家族会

— 12月20日 金沢市文化ホール —



160名の多数の参加で

北沢ロータリークラブ年忘れ家族会



ユーモアあふれる塩村会長のあいさつ



恒例となった芸術家会員の作品展



岡田会員、二木会員にお祝を



沢田副会長のサンタクロース

金沢北ロータリークラブ年忘れ家族会



交換学生が唄う、ホワイトクリスマス



待望の人間国宝大場先生の
襦を入手した本岡夫妻



ニコニコ顔でプレゼント交換

